

証券コード：4228

第72期 中間報告書
2015年4月1日～2015年9月30日

株主のみなさまへ

- 1 トップメッセージ
- 3 2015年度中間期の事業別概況（連結）
- 4 グローバル事業戦略について
- 5 トピックス
- 7 中間連結財務諸表
- 8 株式の状況
- 9 会社概要

中期経営計画 「ENS2000-Challenge」の最終年度を迎えて



1

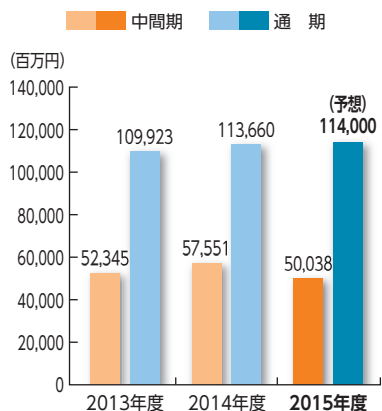
代表取締役社長 柏原正人

当中間期の世界経済は、米国は堅調なもの、中国やアジア新興国の景気下振れリスクが高まり、日本企業の生産や輸出を下押しする懸念が強まっています。日本の発泡プラスチック業界におきましては、原料価格が下落傾向である一方、関連需要の盛り上がり欠く状況となりました。

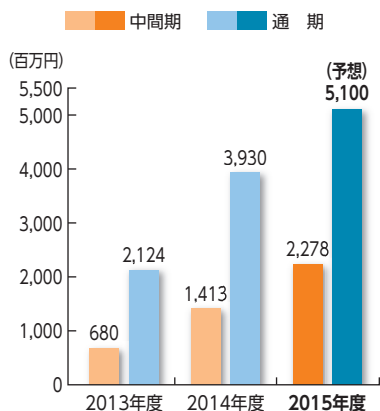
このような経営環境のなか、当社グループでは中期経営計画「ENS2000-Challenge」（2013年度～2015年度）の最終年度を迎え、成長路線に再チャレンジするという中期経営計画の目標を確たるものにするため、グローバルを中心とした売上拡大と収益改善などの重点施策の仕上げを進めております。その結果、連結売上高は500億3千8百万円と減収になり、利益面では、連結営業利益は22億7千8百万円と大幅増益になったものの、為替差損の影響などから、連結経常利益は19億2千9百万円、親会社株主に帰属する連結中間純利益は11億7千5百万円となりました。なお、前期に大半の国外連結子会社の会計年度終了日を12月31日から連結会計年度と同じ3月31日に変更したことに伴い、前年同期の経営成績には当該子会社の2014年1月1日から9月30日までの9カ月間の業績が反映されています。

当中間期の配当につきましては、1株につき5円とさせていただきます、年間では1株につき10円を予定しております。なお、中間配当金の支払開始日は12月4日となります。

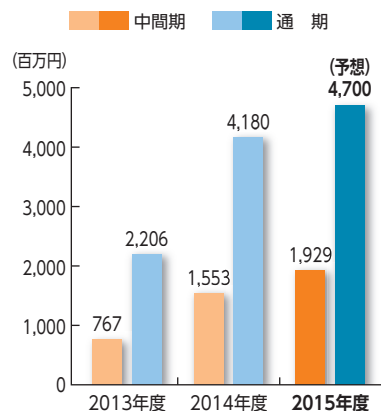
売上高



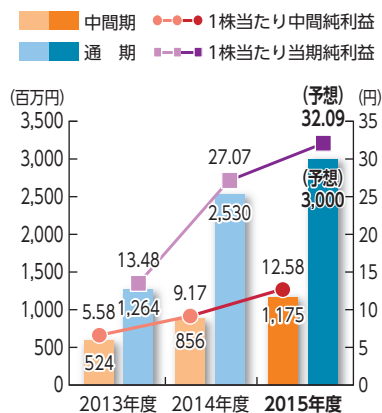
営業利益



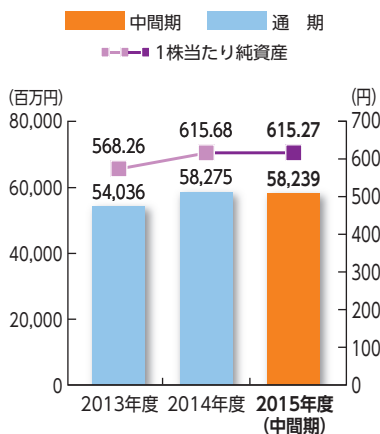
経常利益



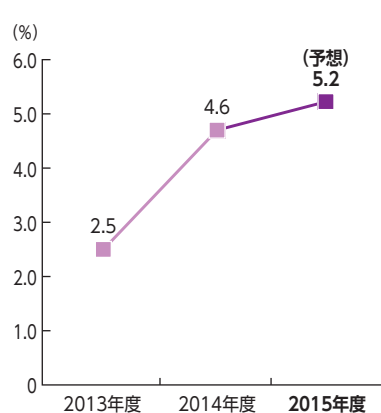
純利益・1株当たり純利益



純資産・1株当たり純資産



ROE (自己資本当期純利益率)



今期の見通しにつきましては、連結売上高1,140億円、連結営業利益51億円、連結経常利益47億円、親会社株主に帰属する連結当期純利益30億円を見込んでおります。

また、中期経営計画を達成するため、最終仕上げに向け

て全社一丸となって邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

▶ 2015年度中間期の事業別概況（連結）



生活分野 (ヒューマンライフ)

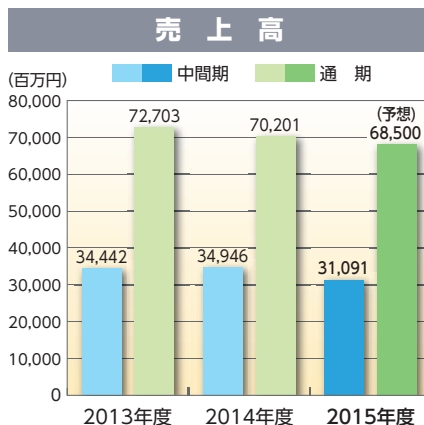
売上高 31,091百万円

売上構成比 62.1%

水産関連や建材・土木関連の需要は低調でしたが、食品容器関連の需要は食品トレー用途が好調に推移しました。主力製品である「エスレンシート」の売上数量は前年同期をやや下回りましたが、「エスレンシート」の売上数量は前年同期を上回りました。また、原材料価格の動向に合わせて柔軟な製品価格政策をとったことや、関連仕入商品の販売減が売上高の前年同期比減収要因になりました。



エスレンシート (防湿断熱カップ)

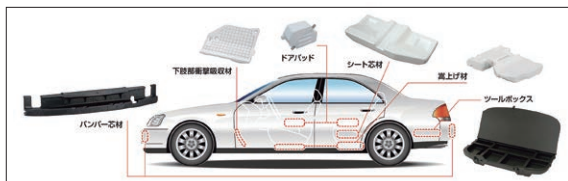


工業分野 (インダストリー)

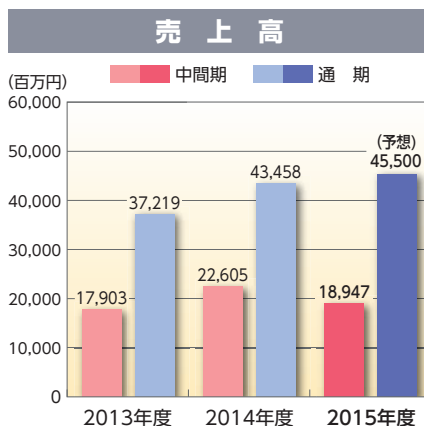
売上高 18,947百万円

売上構成比 37.9%

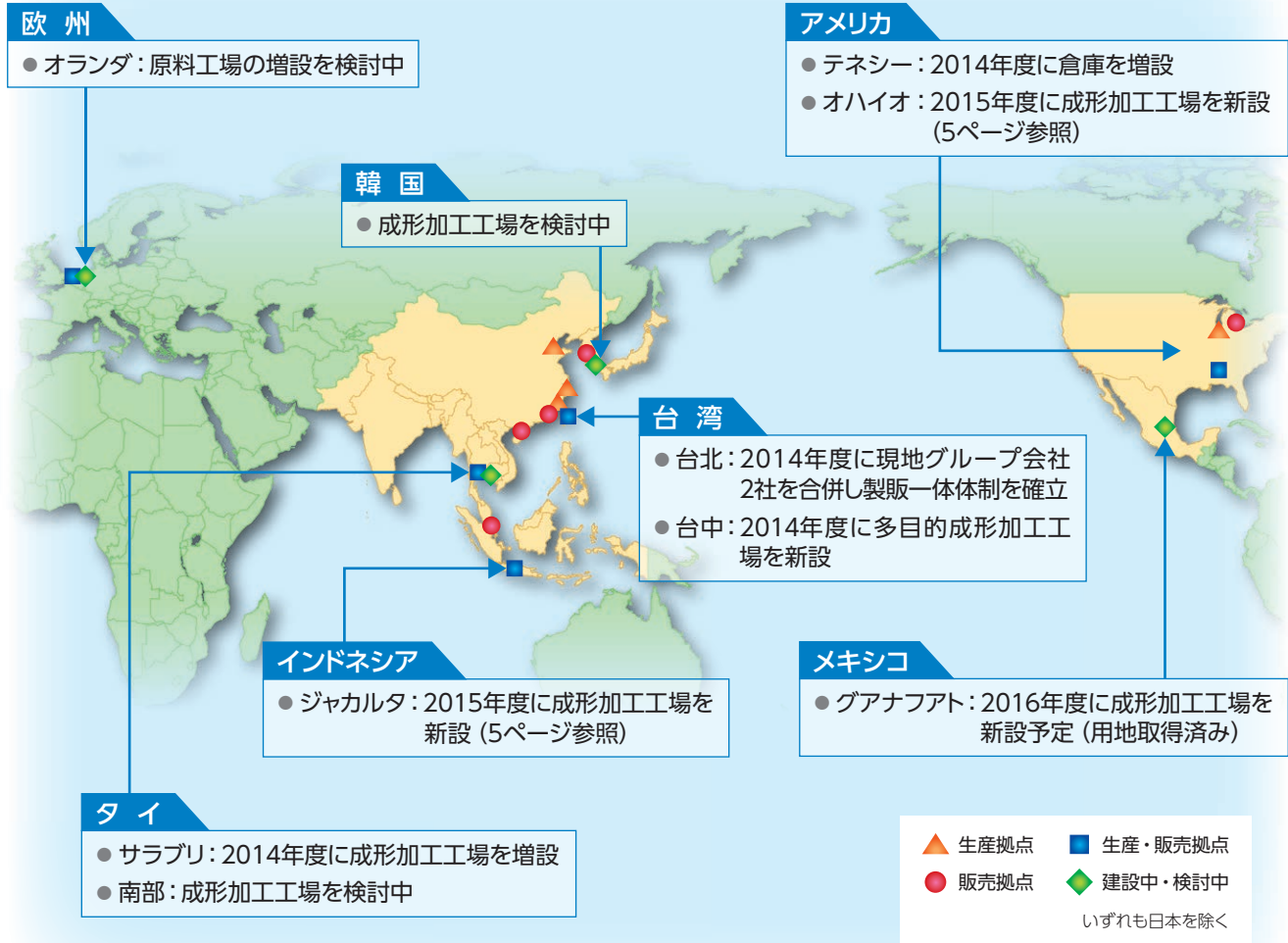
家電・IT関連では、「ピオセラン」などを用いた液晶パネル搬送資材用途において、前年度後半から継続していた中国や台湾での新規受注による売上増加が期間後半には一巡となりました。「テクポリマー」は、液晶パネルなどの光拡散用途において、顧客の生産調整が長引いたことにより売上が減少しました。自動車関連では、「ピオセラン」などを用いた部材用途が、日本や米国などで着実に採用が拡大しました。



ピオセラン (自動車部材)



これからのグローバル事業は、成長が見込まれるアジア・北米地域を重点地域として事業拡大をはかり、家電や自動車など工業分野に加えて、食品流通やインフラ関連など生活分野も含めた市場分野に展開します。また成形加工拠点拡充で事業領域拡大をはかり、経営資源を集中的に投下して収益拡大をスピードアップしていきます。



「米国オハイオ州の 成形加工工場が生産開始」

米国における事業拡大を目的として、2007年テネシー州に「ピオセラン」の原料工場、2011年に成形加工工場を設置し、日系自動車メーカーおよび米国の顧客に原料と成形品の供給を行っています。米国の自動車産業が安定した成長を続ける中、自動車部品以外に各種部材や緩衝材にも用途が広がっています。そこで米国北中部の大手顧客ニーズにお応えするべく、より顧客に近い拠点を設け、さらなる安定供給、顧客満足度の向上をはかるため、オハイオ州に成形加工工場を新設し、2015年9月より生産を開始しました。



成形加工工場外観 (米国オハイオ州)



オープニングセレモニー

「インドネシアに 成形加工工場を新設」

インドネシアでは日系の自動車メーカーや家電・ITメーカーが多数進出しており、2007年に販売拠点を設立し、発泡プラスチック成形品を現地企業へ生産委託することにより事業展開をしていました。

この度、顧客からのより高い品質・性能要求にお応えするため、ジャカルタ近郊に成形加工工場を新設し、2015年5月より生産を開始しました。これにより、素材・設計・生産技術、品質保証まで一体となった体制が整いましたので、さらなる事業拡大をはかっていきます。



成形加工工場外観 (インドネシア)



オープニングセレモニー

『水なし活ヒラメ輸送函』がTBSテレビ 『特大がっちりマンデー』で放送

ヒラメを生きたまま眠らせて水無しで輸送できるヒラメ専用輸送函が月刊食品包装に掲載されたことで、TBSテレビにその独創性が注目され取材を受け、2015年7月8日のゴールデンタイム「特大がっちりマンデー」に全国ネットで放送されました。

番組内では、実際にヒラメを眠らせて輸送し、開梱後覚醒させると、水を入れた魚函で輸送した場合と比べうまみ成分が5倍もあったことや、活魚の国外輸出にも期待できると絶賛されました。今後、養殖活魚輸送の新しいビジネスモデルとして積極的に展開していきます。



撮影中の様子



水なし活ヒラメ輸送函

「各種ウレタン商品が 『第9回キッズデザイン賞』を受賞」

子供たちの安全・安心に貢献し、創造性と未来を拓き、産み育てやすいデザインを顕彰するキッズデザイン賞に応募しました。同賞は今回で第9回目となり、過去最高となる470件を超える応募の中から、当社グループ商材のウレタン製「お昼寝マット」と「減音緩衝フロア」が受賞しました。「お昼寝マット」は介護用マットレスの開発に携わってきたノウハウを活かし、幼児用として開発したもので、「減音緩衝フロア」は子供たちの遊ぶ音の周辺環境や階下への配慮、転倒時の安全配慮などのニーズに対応する複合商品です。



お昼寝マット



減音緩衝フロア

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	当中間期 (2015年9月30日現在)	前 期 (2015年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	46,141	48,680
現金及び預金	6,542	7,033
受取手形及び売掛金	27,494	29,776
たな卸資産	9,601	10,128
その他	2,503	1,741
固定資産	67,423	67,520
有形固定資産	47,412	47,419
無形固定資産	1,132	1,100
投資その他の資産	18,878	19,000
資産合計	113,565	116,201

期別 科目	当中間期 (2015年9月30日現在)	前 期 (2015年3月31日現在)
(負債・純資産の部)		
流動負債	33,935	36,221
支払手形及び買掛金	14,442	16,643
その他	19,492	19,577
固定負債	21,390	21,704
負債合計	55,326	57,925
株主資本	47,749	47,089
その他の包括利益累計額	9,764	10,465
非支配株主持分	725	720
純資産合計	58,239	58,275
負債・純資産合計	113,565	116,201

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

期別 科目	当中間期 (自2015年4月1日 至2015年9月30日)	前中間期 (自2014年4月1日 至2014年9月30日)
売上高	50,038	57,551
売上原価	38,373	46,602
販売費及び一般管理費	9,386	9,536
営業利益	2,278	1,413
営業外収益	203	467
営業外費用	552	326
経常利益	1,929	1,553
特別利益	1	1
特別損失	1	60
税金等調整前中間純利益	1,930	1,494
法人税等	750	585
中間純利益	1,180	909
非支配株主に帰属する中間純利益	4	52
親会社株主に帰属する中間純利益	1,175	856

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

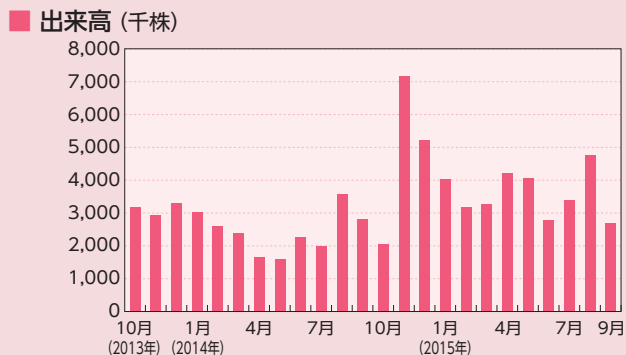
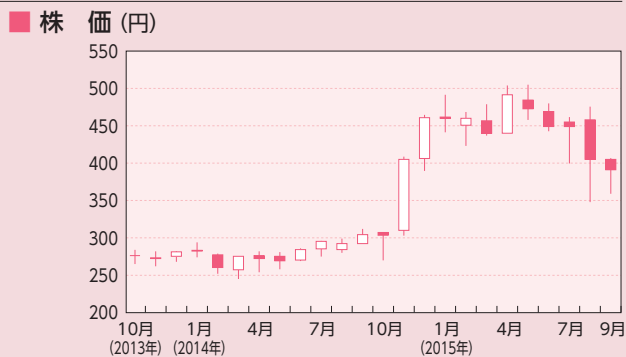
期別 科目	当中間期 (自2015年4月1日 至2015年9月30日)	前中間期 (自2014年4月1日 至2014年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	3,500	2,806
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,079	△ 2,548
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 751	△ 339
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 161	73
現金及び現金同等物の 増減額	△ 491	△ 8
現金及び現金同等物の 期首残高	7,030	6,278
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	—	△ 13
現金及び現金同等物の 中間期末残高	6,539	6,256

▶ 発行可能株式総数 249,502,000株
 ▶ 発行済株式の総数 95,976,218株
 ▶ 株主数 4,563名

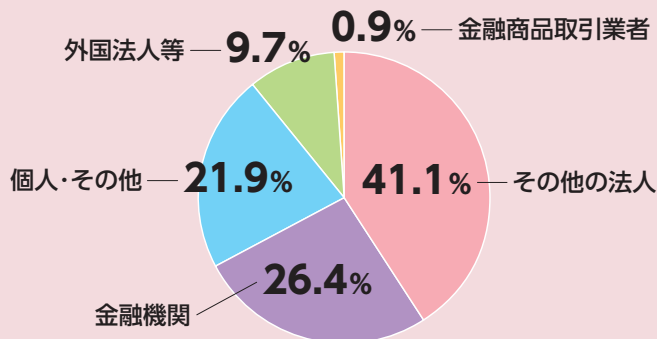
大株主

株主名	所有株式数 千株	所有比率 %
積水化学工業株式会社	20,337	21.74
第一生命保険株式会社	6,063	6.48
積水化成品従業員持株会	3,500	3.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託)	3,047	3.25
積水樹脂株式会社	2,839	3.03
大同生命保険株式会社	2,836	3.03
株式会社エフピコ	2,697	2.88
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,655	2.83
旭化成ケミカルズ株式会社	2,500	2.67
住友化学株式会社	2,500	2.67

株価・出来高の推移 (東京証券取引所 市場第1部)

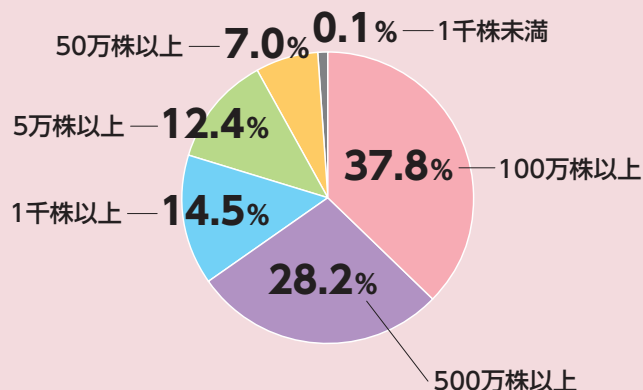


所有者別分布状況 (所有比率)



(注) 所有比率は、自己株式 (2,447千株) を控除して計算しております。

所有株数別分布状況 (所有比率)



会社の概要 (2015年9月30日現在)

商号 積水化成工業株式会社
(英文商号) (Sekisui Plastics Co.,Ltd.)

本社 大阪市北区西天満二丁目4番4号

設立年月日 1959年10月1日

資本金 16,533,476,176円

グループ従業員数 1,861名

営業品目 <セグメント別>

生活分野	市場・用途	農水産資材、食品包装材、 流通資材、建築資材、土木資材
	主な製品・商品	エスレンビーズ、エスレンシート、 エスレンウッド、 これら成形加工品 ESダンマット、エスレンブロックなど

工業分野	市場・用途	自動車部材、車輛部品梱包材、 産業包装材、電子部品材料、 医療・化粧品材料
	主な製品・商品	ピオセラン、ライトロン、 ネオマイクロレン、セルペット、 テクポリマー、テクノゲル、 フォーマック、 これら成形加工品など

ホームページアドレス <http://www.sekisuiplastics.co.jp>

取締役および監査役 (2015年9月30日現在)

取締役

代表取締役社長 柏原正人
取締役 佐野芳秀
取締役 辻村博志
取締役 池垣徹哉
取締役 佐々木雅伸
取締役相談役 小野恵造
社外取締役 網本勝彌
社外取締役 馬場宏之

監査役

常勤監査役 守屋雅之
常勤監査役 沼倉克則
社外監査役 辻清孝
社外監査役 長濱守信
社外監査役 高坂敬三

事業所所在地

(2015年9月30日現在)

本社 大阪市北区西天満二丁目4番4号
(堂島関電ビル)
TEL 06 (6365) 3014
〒530-8565

東京本部 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号
(小田急第一生命ビル)
TEL 03 (3347) 9615
〒163-0727

総合研究所 奈良県天理市森本町670番地
TEL 0743 (65) 0504
〒632-8505

● **グループ会社 (グローバル)**



● **グループ会社 (日本)**

湘南 积水工業株式会社	株式会社 积水化成製品 堺	株式会社 积水化成製品 東北
株式会社 积水化成製品 山口	株式会社 积水化成製品 九州	株式会社 积水化成製品 沖縄
株式会社 积水 技研	株式会社 积水化成製品 関東	株式会社 积水化成製品 群馬
株式会社 积水化成製品 北海道	株式会社 积水化成製品 天理	セキスイウレタン加工株式会社
株式会社 积水化成製品 近江	株式会社 积水化成製品 中部	
株式会社 积水化成製品 埼玉	株式会社 积水化成製品 滋賀	
株式会社 积水化成製品 東部	株式会社 积水化成製品 四国	

経営理念

われわれ積水化成成品グループは、
人間尊重と相互信頼を基本に全員経営を実践し
“新しい幸せ”を目指して
常にイノベーションをし続けます

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日、期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話：0120-094-777 (通話料無料)
公告の方法	電子公告 公告の内容は、当社ホームページにおいてご覧ください。 http://www.sekisuiplastics.co.jp/koukoku/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、日本経済新聞 に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部
※株主様のお問合せ先	積水化成成品工業株式会社 管理本部 総務部 電話06-6365-3014



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。